

令和元年度「こども部会」前橋市療育ネットワーク推進会議研修会報告

1 日 時

令和元年11月28日(木) 9:30~12:00

2 会 場

前橋市総合福祉会館 3階 第1・2会議室

3 参加者実績

参加者：48名 (申込者：52名)

内訳：放課後等デイサービス 39名、相談支援事業所 5名、

集団活動訓練事業所 2名 放課後児童クラブ 1名

児童発達支援センター 1名、

上記以外に こども部会員・ファシリテーター役・事務局 16名

4 研修会概要

(1) あいさつ

前橋市役所障害福祉課

鈴木課長

前橋市自立支援協議会こども部会

信澤部会長

(2) 発達障害者地域支援マネジャー派遣事業」・発達障害相談支援サポーターの説明

群馬県発達障害者支援センター

小林副主幹

(3) 研修

テーマ：対応困難なケースへの対応について

講師 発達障害者地域支援マネジャー

NPO法人リンケージ理事長 石川京子氏

① グループワーク

* 9グループ×5~6人、各グループにファシリテーターとして相談支援専門員に入ってもらった

ア 事例前半：講師から提供された事例について、児の問題行動にどのように対応すればよいか。

イ 事例後半：児の希望を聞いた後、その希望を実現するために、どのような支援をするか。(児のストレンクス、発達特性、意志や願い、周囲の人々の状況も考慮)

3つのグループより、どのような話し合いが行われたか発表

② 講評・講話

・自閉スペクトラム症やADHDの特性は生まれながらの脳機能の個性

・発達障がいのある人の不適応を考える上での2つの視点

→発達・トラウマ・愛着・環境などどの問題がからんでいるか。

→問題行動にどのように対応するか？また児の希望を実現するために今後どのような支援をするか？の問いは本人に寄り添っているか

・問題行動に直面している家族の状況

問題行動に気づいてない？対応方法がわからない？話題にされたくない？

- ・家族への対応は相手にわかる形で伝える。家族も支援者も学校もお互い協力し合える、チームの一員であると伝える

5 アンケート結果 対象者数：48名 回収数：46名（回収率 96%）

(1) 講演について

| | |
|----------------|----|
| とても参考になった | 28 |
| 参考になった | 17 |
| あまり参考にならなかった | 0 |
| 期待していた内容と違っていた | 1 |
| その他 | 0 |

意見

- ・他の事業所の支援内容を聞いて、様々な価値観に触れることができた
- ・最後のまとめの話、とても勉強になり再確認になった。事業所で共有していきたい。

(2) 開催時期について

| | |
|---------|----|
| 適切である | 46 |
| 他の時期が良い | 0 |

意見

なし

(3) 開催時間について

| | |
|----------|----|
| 適切である | 45 |
| 短すぎる | 0 |
| 長すぎる | 1 |
| 午後の開催がよい | 0 |

意見

- ・午後は支援時間になるので午前にしていただいたことで参加しやすかった。

(4) 開催の曜日について

| | |
|------------|----|
| 適切である | 45 |
| 他の平日の曜日が良い | 1 |
| 土日が良い | 0 |

意見

なし

(5) 研修会の形式について

| | |
|--------------------|----|
| 講演会がよい | 29 |
| グループワークがあった方がいい | 19 |
| 分科会方式で選べるテーマがあると良い | 8 |

意見

- ・お互いの悩みなど意見交換も交せて話のできたので良かった（グループワーク）。両方あったのでとても勉強になりました。
- ・他事業所の方の意見が聞けて大変参考になると思う。
- ・色々な事業所の話が聞けるのでグループワーク。
- ・経験して対処したことが直接聞けるので役立つ。
- ・他の方の意見がとても勉強になるのでグループワークは今後も取り入れて頂きたい。
- ・他の事業所の方のお話を聞かせて頂き、とても参考になりました。
- ・色々な意見が聞け参考になる。

6. 今後の研修について等

- ・不登校のお子さまの利用者が増えてきています。福祉、療育の分野のできることは何かというような研修内容があったらありがたいと思いました。

グループワークの様子



まとめの講話

